

2016年10月28日
株式会社パートナーエージェント
(証券コード:東証マザーズ6181)

Vol.66 婚活総合研究所 先輩パパ・ママ世代の出産事情アンケート調査

先輩ママの約8割が34歳までに初産を経験 先輩パパ・ママ世代の「妊娠・出産」事情

～30歳を超えると妊活するパパ・ママが急増。年齢とともに精神的負担が上昇する傾向～

成婚率にこだわる婚活支援サービスを展開する株式会社パートナーエージェント(本社:東京都品川区、代表取締役社長:佐藤茂、証券コード:東証マザーズ6181、URL:<http://www.p-a.jp/>、以下パートナーエージェント)は40～59歳の既婚で子供がいる男女288人に対して「先輩パパ・ママ世代の出産事情」に関するアンケート調査を実施いたしました。

<調査背景>

最近では子供を望む夫婦が妊娠・出産を目指して「妊活」することも珍しくなくなりました。35歳を超えると卵子だけでなく精子まで老化し、妊娠しにくくなる傾向にあると言われていたため、年齢を意識してできるだけ若いうちに妊娠・出産を考える夫婦も増えているようです。

果たして実際のところは、初産時の年齢によって妊娠・出産の大変さはどれくらい変わってくるのでしょうか。既に初産を終えた40～50代の既婚で子供がいる男女を対象に、初産時の妊娠・出産の大変さについて聞いてみました。

<調査結果サマリ>

- ・先輩パパの66.7%、先輩ママの77.7%が34歳までに初産を経験
- ・3人に1人が「妊活」を経験。30歳を過ぎると「妊活」経験者が急増に
- ・「妊活」を始めてから半年で子供を授かる人は54.0%
- ・妊娠・出産までの大変さ、年齢が上がると「精神的負担」が少しずつ増加
- ・子供のいる生活はやっぱり幸福。9割近くが「幸福を感じる」

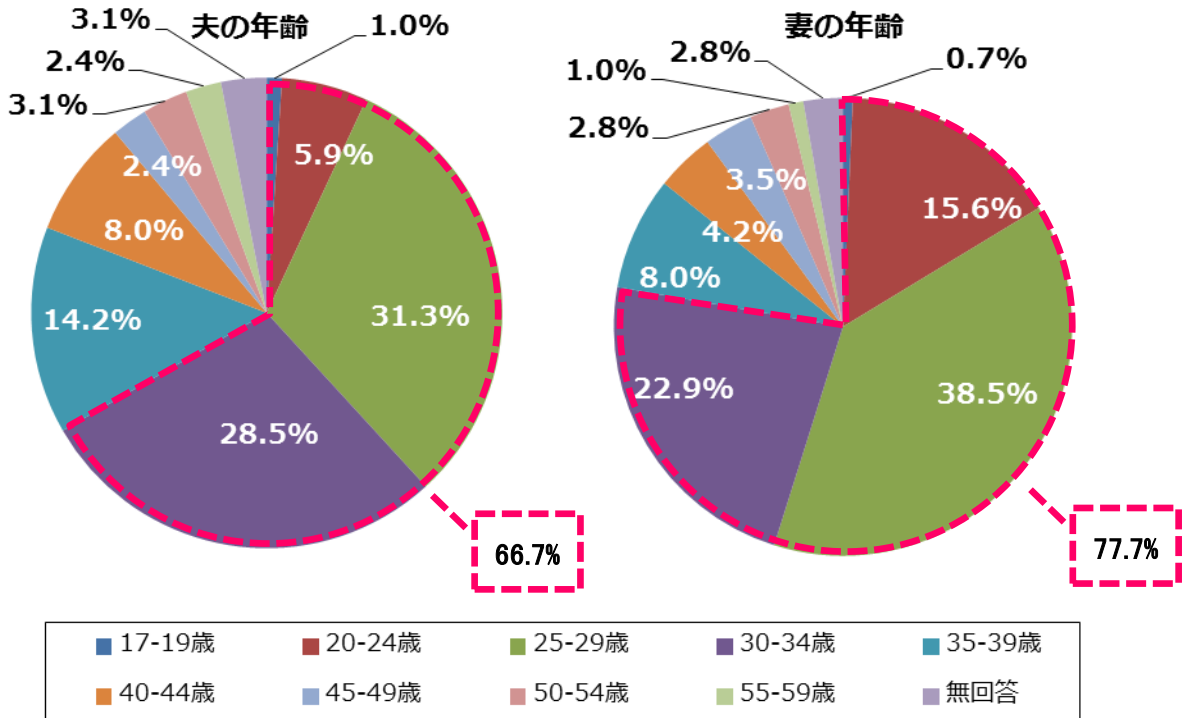
■先輩パパの66.7%、先輩ママの77.7%が34歳までに初産を経験

Q. 第1子が生まれた時のあなたとあなたの配偶者の年齢を教えてください。(n=288)※必須回答

今回の調査対象である40～59歳の既婚で、子供がいる男女に、第1子を出産した際の男性・女性それぞれの年齢について尋ねてみました。

「25-29歳」での出産が男女共に最多となり、夫は31.3%、妻は38.5%でした。男性は37.2%、女性は54.1%が20代で初産を経験していました。

次いで「30-34歳」が夫28.5%、妻22.9%となりました。34歳までに男性の66.7%、女性の77.7%が初産を経験したことになります。



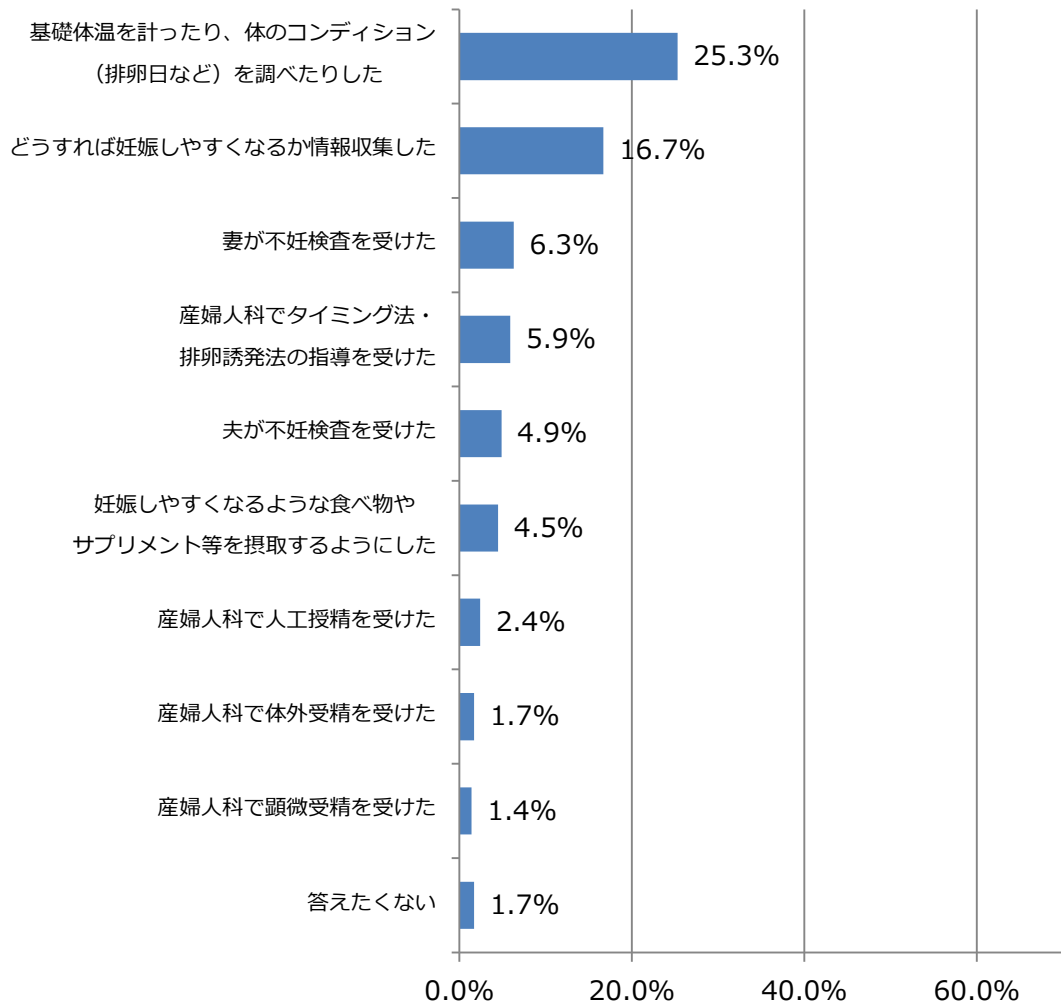
■ 3人に1人が「妊活」を経験。30歳を過ぎると「妊活」経験者が急増に

Q. あなたとあなたの配偶者は、どんな「妊活」をしましたか。(n=288)※ 必須回答

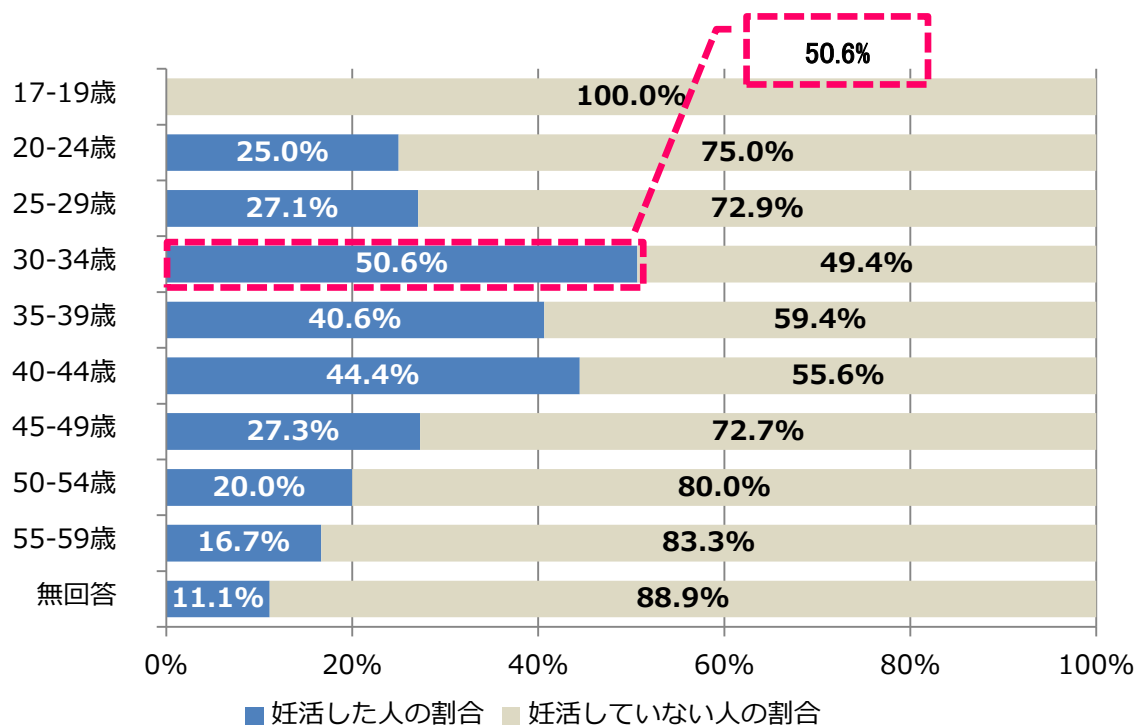
「妊活」とは、妊娠するための条件などの知識を身につけたり、また自分の体のコンディションを調べて妊娠しやすいタイミングを把握したりする活動のことを言います。最近では、不妊の約半分は男性に原因があると言われるようになり、女性だけでなく男性にも妊活に取り組む人が増えてきています。

そんな近ごろでは広く使われるようになってきた「妊活」という言葉ですが、40～50代の先輩パパ・ママたちも似たような活動を経験していたようです。

どんな妊活をしたことがあるかと尋ねたところ、「どうすれば妊娠しやすくなるか情報収集した」は16.7%、「基礎体温を計ったり、体のコンディション(排卵日など)を調べたりした」は25.3%となりました。



また、以上の結果から年齢ごとの妊活経験率を集計してみました。
 30歳前半が最も高く、50.6%の人が妊活を経験していました。次いで40代前半の44.4%、30代後半の40.6%となっています。

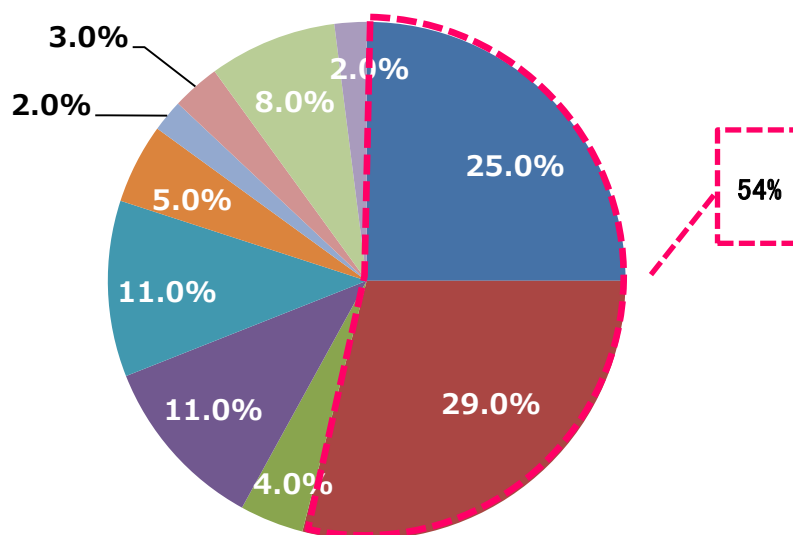


■「妊活」を始めてから半年で子供を授かる人は54.0%

Q. あなたとあなたの配偶者が「妊活を始めてから子供を授かるまでの期間」について教えてください。(n=100)※ 必須回答

では「妊活」をした人たちは、始めてからどれくらいで妊娠できたのでしょうか。前の設問で何らかの形で「妊活をした」と回答した100人を対象に調査してみました。

「～3ヶ月」との回答が25.0%、「4～6ヶ月」が29.0%と、半数以上が「妊活」を始めてから半年以内に妊娠したという結果が出ました。



■ ～3ヶ月	■ 4～6ヶ月	■ 7～9ヶ月
■ 10ヶ月～1年	■ 1年1ヶ月～1年6ヶ月	■ 1年7ヶ月～2年
■ 2年1ヶ月～2年6ヶ月	■ 2年7ヶ月～3年	■ 3年1ヶ月～
■ 答えたくない		

■妊娠・出産までの大変さ、年齢が上がると「精神的負担」が少しずつ増加

Q. あなた自身の感じた「妊娠・出産までの大変さ」について、5段階で評価してください。

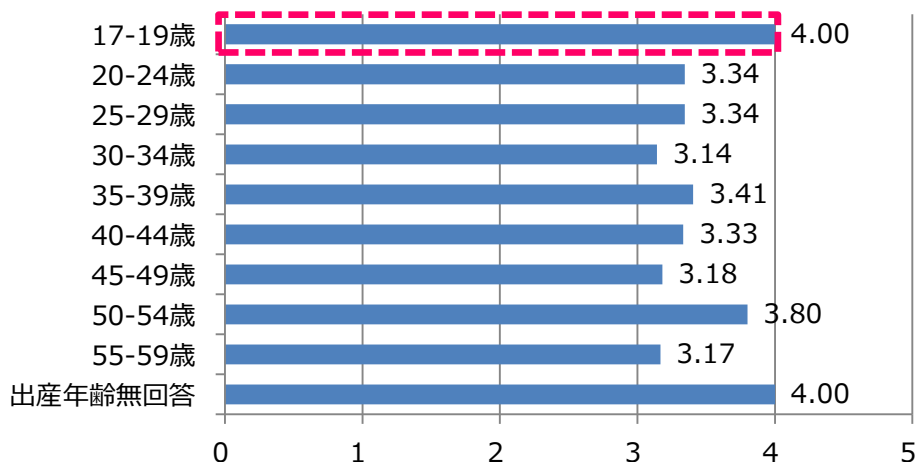
(n=288)※ 必須回答

初産時の年齢によって、「妊娠・出産が大変になる」と言われていますが、先輩パパ・ママはどのように感じたのでしょうか。妊娠・出産までの大変さを5点満点で評価してもらいました。

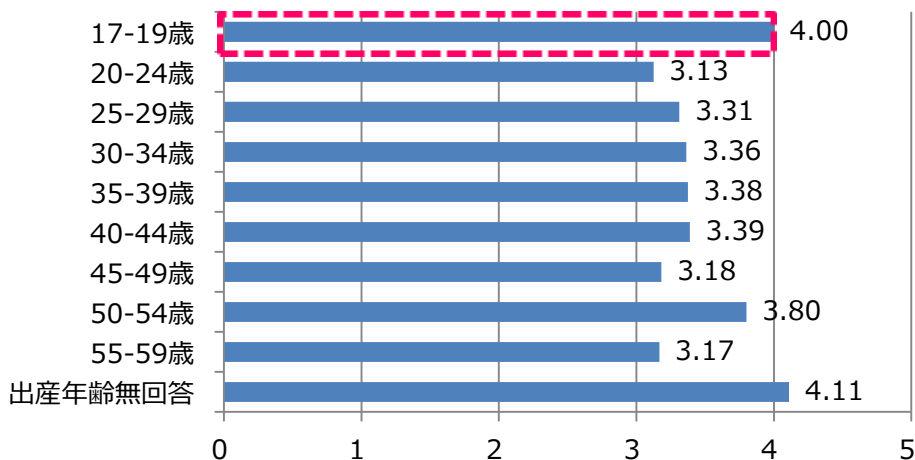
その回答を基に平均値を出してみた結果、「17-19歳」という10代で出産を経験した回答者が肉体的にも精神的にも最も大変だと感じていたことが分かりました。

また肉体的な負担は20～40代にかけてそれほど変化はないようですが、精神的な負担は年齢を重ねるにつれて少しずつ増していく傾向があるようです。

肉体的負担



精神的負担



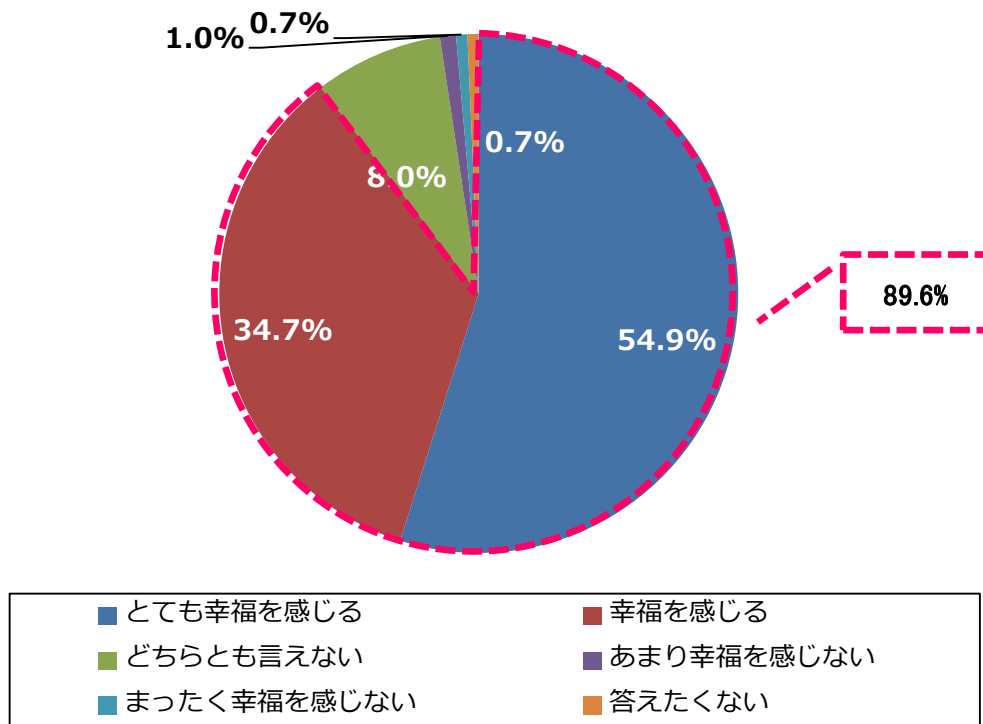
■子供のいる生活はやっぱり幸福。9割近くが「幸福を感じる」

Q. あなたは現在、子供のいる生活に幸福を感じますか。(n=288)※ 必須回答

Q. あなたが前の設問の回答を選んだ理由について教えてください。(n=288)※ 必須回答

最後に、現在の「子供のいる生活」に幸福を感じているかどうか尋ねてみました。

「とても幸福を感じる」(54.9%)、「幸福を感じる」(34.7%)と幸福を感じている人は全体の9割近くにのぼりました。



また、その回答理由についても聞いてみました。

【(とても)幸福を感じる】

- ・子供がいることで毎日の生活にハリがあり成長を感じた時など口では表せない幸福感がある(44歳・男性)
- ・日に日に成長がみてとれるし、やはり自分の子供は一番可愛い。生意気な所もあるけど、友達のような感じの家族が作れているのでいい感じですよ(48歳・男性)
- ・子供ができて、子供のいない生活は寂しいと感じる。夫婦2人の時はそれなりに楽しかったのに。不思議です(58歳・男性)
- ・夫との関係が変わった。子供がいない時は同居人のような感覚だったが、子供ができた後は子供の成長を見守り、今後の人生の在り方を共に考える家族になったと思う(40歳・女性)
- ・子供がいることで夫婦の会話があり、子供中心にすることで家庭の環境が明るくなったこと(59歳・女性)

【どちらでもない】

- ・子供がいて楽しいこともあるが、大変なことも多いから(42歳・女性)
- ・子供は嬉しいが妻との関係が悪くなった(47歳・男性)
- ・命を育てるといふ事の大変さを知ったから(46歳・女性)

【(あまり)(まったく)幸福を感じない】

- ・子供は成人したが 実家にあまり顔を出さなくなった(55歳・女性)
- ・苦労ばかり(54歳・女性)

9割近くの人が幸福を感じているように、やはり子供のいる生活はとても良いもののように。

今回の調査から、30歳を超えると妊活する割合が男女共に急増すること、出産年齢が高くなるにつれて精神的な面で大変だと感じる人が若干増えてくることが分かりました。

早いうちから結婚を意識することで、先輩パパ・ママのように30代前半までの妊娠・出産の準備を行うことができるのではないのでしょうか。

調査方法: インターネット調査
調査対象: 40~59歳の既婚子供がいる男女 288名
集計期間: 2016年10月12日~10月15日

【株式会社パートナーエージェント 会社概要】

商 号:株式会社パートナーエージェント

証券コード:東証マザーズ6181

代 表 者:代表取締役社長 佐藤 茂

創 業:2006年9月

所 在 地:東京都品川区大崎1丁目20-3
イマス大崎ビル4階

U R L : パートナーエージェント <http://www.p-a.jp/>
おとなの婚活パーティーOTOCON <http://www.otocon.jp/>
OTOCON MEMBERS 婚活カウンター <https://www.members-o.jp/>

- 事業内容 : 1. 結婚相手の紹介、相談
2. 交際、結婚に関する調査研究
3. イベント、旅行の企画・運営
4. 生命保険、損害保険代理店
5. 挙式、披露宴の企画・斡旋
6. カウンセリング、各種セミナー運営
7. 会員誌、その他出版
8. Webサイト、Webコミュニティの企画・運営



～代表メッセージ～

現代は、結婚しにくい時代と言われています。

仲人やお見合いなどの社会的な出会いの場が減少し、結婚をしたくても機会に恵まれない多くの独身者がいます。

当社は、もっと信頼できる結婚情報サービスを目指して設立されました。

従来の結婚相談のサービスを見直し、結婚を望む顧客へ高い成果を提供することで多くのお客様の支持をいただけてきました。

これからも、1年以内の結婚を支援するエージェントとして

未婚・晩婚を解決する社会の実現へ貢献してまいります。

【転載・引用に関する注意事項】

本アンケートの著作権は、株式会社パートナーエージェントが保有します。調査レポートの内容についてはご自由に転載・引用いただいて構いませんが、引用・転載時には、必ず「パートナーエージェント調べ」など、当社クレジットを明記いただけますようお願い申し上げます。また、パートナーエージェントのWebサイト(<http://www.p-a.jp/>)へのリンクも貼っていただけますと幸いです。

※ 記事などで取り上げていただけた際は、お時間ございましたらh-nozawa@p-a.jp宛てにご一報いただけると幸甚に存じます。

＜本件に関する報道関係者からのお問合せ先＞
株式会社パートナーエージェント 広報担当
TEL:03-6388-9831(部署直通) FAX:03-5759-2701
Mobile:080-4575-7766(担当者直通)